

不登校の悩み解消 支援へ

そら風スクール 高山で慈善絵画展



不登校に悩む親子を支援する「そら風スクール」が開催したチャリティー絵画展＝高山市問屋町のマウントエースで

高山市で不登校の子どもを受け入れている民間の教育機関「そら風スクール」(同市下岡本町)が三日、多くの人に同校の活動内容を知ってもらうため、高山市問屋町のイベントスペース「マウントエース」で、チャリティー絵画展を始めた。二日まで。

スクールは昨年十月に開校し、現在は約十人の小学生が通う。今回は日本画やピカソの版画など約百二十点を展示。来場者は絵の購入もでき、収益の一部は

スクールの資金に充てる。

会場には、同校の活動を写真で紹介するコーナーも設置。絵画の鑑賞をきっかけに、幅広い層に活動内容を知ってもらう狙いだ。

鑑賞に訪れた同市松之本町の会社員、松浦有喜子さん(40)は「いろんなジャンルの絵が見られて癒やされた。スクールの活動を多くのの人に知ってほしいという気持ちが伝わってきて、応援したくなった」と、うなずいていた。

(松沢侑香)

版画で不登校児ら支援

巨匠の作品一堂、慈善展

高山市



巨匠たちの絵画が並ぶ会場＝高山市問屋町、マウントエース

ピカソや東山蝦夷など著名画家の作品を一堂に集めたチャリティー絵画展が30日、高山市問屋町のマウントエースで始まった。5月2日まで。不登校に悩む児童、生徒やその家族の支援を目的とした「そら風スクール」を運営するNPO法人「風の

時代の学校」(高山市)が主催。チャリティー絵画展を全国展開する「ほるぶA&I」(大阪府)の協力で絵画を展示、販売し、売り上げの一部を同NPOの活動資金として活用する。会場にはピカソの「人間喜劇Ⅲ」や東山蝦夷の「白馬の森」といった巨匠たちの版画など120点余りが展示され、来場者が見入っていた。同スクールの活動の様子も紹介されており、同NPOは支援を呼び掛けている。

開館時間は午前10時～午後6時。入場無料。

(岡村将成)